

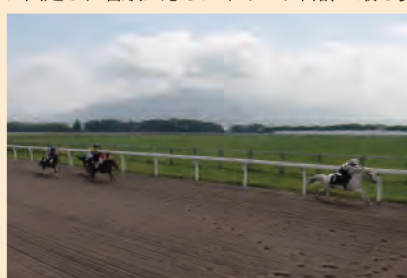
Road to Jockey Babies

全国各地の予選会レポート

ジョッキーベイビーズ出場を目指して全国各地で激しい予選が繰り広げられました。その模様をレポートします。

7月27日(日) 北海道浦河地区予選 JRA 日高育成牧場「浦河競馬祭」

北海道浦河地区予選は、7月27日、JRA日高育成牧場における「第48回浦河競馬祭」の中で行われました。北海道浦河地区予選には5名がエントリー。直線200mと直線350mの2レースに出走し、着順に応じたポイント合計の最も多い選手が代表になるという方式で争われました。結果は宮内勇樹くん(中学1年生)が2レースとも1着となり、ポイント合計で他を大きく離して北海道浦河地区代表の座を獲得しました。



8月9日(土) 北海道札幌地区予選 JRA 札幌競馬場「札幌競馬場グランドオープンイベント」

北海道札幌地区予選は、今年スタンド改修工を終え、グランドオープンを迎えたJRA札幌競馬場における「グランドオープンイベント」の一環として、8月9日に行われました。北海道札幌地区予選には9名がエントリー。前日の8日に乗馬による技術審査とジムカーナ(指定された経路を走るタイムレース)を行い4名が選出され、当日は直線芝コース300mで4頭立ての決勝レースが行われました。結果はレース終盤で大外から強襲した鎌田彩緒さん(中学1年生)が優勝し、北海道札幌地区代表に選出されました。



8月24日(日) 東北地区予選 JRA 福島競馬場「福島復興祈念花火大会」

東北地区予選は、8月24日、JRA福島競馬場における「福島復興祈念花火大会」のイベントの一環として行われました。東北地区予選には地元福島の他、秋田・宮城・新潟から6名がエントリー。前日の23日に乗馬による技術審査とジムカーナ(指定された経路を走るタイムレース)を行い4名が選出され、当日は直線ダートコース200mで4頭立ての決勝レースが行われました。レースは大接戦となりましたが、佐藤優帆さん(中学1年生)が頭一つ抜け出して優勝し、東北地区代表に選出されました。



9月23日(祝・火) 関東地区予選 JRA 馬事公苑「愛馬の日」

関東地区予選は、9月23日、JRA馬事公苑の「JRA60周年記念第46回愛馬の日」の中で行われました。当日は、流籠馬や相馬野馬追など馬に関する様々なイベントが催され、多くの来場者で賑わう中でのレースとなりました。今年は5名のエントリーがあり、直線230mのダートコースでレースが行われました。レースは、最後方からレースを進めた出場者中最年少の佐藤翔馬くん(小学4年生)が、レース終盤で見事ライバル達を差し切り、関東地区代表の座を獲得しました。



8月3日(日) 長野地区予選 高ボッチ高原草競馬場「高ボッチ高原観光草競馬大会」

長野地区予選は、8月3日、標高1,600mの山中にある高ボッチ高原草競馬場(塩尻市)の「第61回高ボッチ高原観光草競馬大会」の中で行われました。この大会は夏の信濃路の風物詩として親しまれており、当日はポニー・サラブレッド・農耕馬などによる27レース(ジョッキーベイビーズを含む)もの草競馬が繰り広げられました。6名のエントリーがあった長野地区予選は、アップダウンの激しい1周400mのコースを2周する形でレースが行われ、好スタートを決めた小林勝太くん(小学6年生)がそのまま逃げ切って優勝し、長野地区代表に選出されました。



9月14日(日) 東海地区予選 JRA 中京競馬場「秋の感謝祭 in 中京競馬場」

昨年新設された東海地区予選は、9月14日、JRA中京競馬場で催されたイベント「秋の感謝祭 in 中京競馬場」の中で行われました。東海地区予選には地元愛知の他、静岡、三重などから総勢11名がエントリー。まず直線ダートコース300mの予選第1レース(5頭立て)、予選第2レース(6頭立て)が行われ、各レース1~3着の計6名が決勝レースに進出しました。6頭立てとなった決勝レースは、直線芝コース300mで争われ、2頭の激しい追い比べを制した伴凌次くん(小学5年生)が優勝し、東海地区代表に選出されました。



8月24日(日) 関西地区予選 三木ホースランドパーク「みっきいポニーレース」

関西地区予選は、8月24日、兵庫県三木ホースランドパークの「第5回みっきいポニーレース」の中で行われました。関西地区予選には、総勢9名のエントリーがあり、まず予選3レース(各3頭立て)が行われ、その後、各予選レース1着の3名による決勝レースが行われました。3頭立てとなった決勝レースでは、少し出遅れ気味にスタートした角田大和くん(中学1年生)が、最後の直線でライバル達を差し切って優勝し、見事本戦への切符を掴みました。



7月27日(日) 九州地区予選 JRA 宮崎育成牧場「馬に親しむ日」

九州地区予選は、7月27日、JRA宮崎育成牧場の「馬に親しむ日」のイベントの一環として行われました。九州地区予選には9名のエントリーがあり、まず直線ダート200mの予選第1レース(4頭立て)、予選第2レース(5頭立て)が行われ、各レース1~3着の計6名が決勝に進出。決勝レースは直線ダート400mで争われ(6頭立て)、激しいデッドヒートの末、最後に抜け出した吉永彩乃さん(中学1年生)が優勝し、九州地区代表に選出されました。吉永さんは2011年・2013年に続き3度目の出場で、悲願の優勝を狙います。



第1回 ジョッキーベイビーズ (平成21年11月8日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	①	木村拓己くん	北海道
	2	⑤	奥村亜季さん	長野
	3	②	広瀬 楓さん	北海道

第3回 ジョッキーベイビーズ (平成23年11月6日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	③	石井李佳さん	関東
	2	⑤	永井孝典くん	長野
	3	⑥	名倉賢人くん	関西

第5回 ジョッキーベイビーズ (平成25年11月3日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	④	斎藤 新くん	関東
	2	⑦	松本大輝くん	関西
	3	⑧	吉永彩乃さん	九州

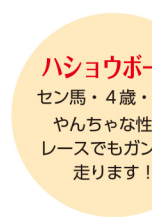
出走予定ポニー紹介



チェリー
牝馬・8歳・鹿白斑
何でも出来る優等生!
レースでも一番を目指します!



ホワイトソックス
セン馬・5歳・青毛
いつもマイペースなのんびり屋さん。
漆黑の馬体が自慢です!



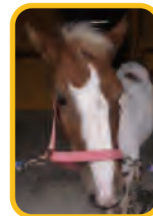
ハショウボーイ
セン馬・4歳・栗毛
やんちゃな性格、レースでもガンガン走ります!



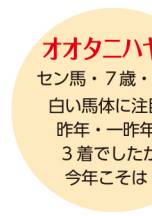
エンバクQueen
牝馬・7歳・栗白斑
穏やかな性格のお姉さん。でも走りは一級品!



ゴット
セン馬・3歳・栗毛
出走ポニー中最年少のやんちゃ坊主!



栗姫
牝馬・6歳・栗白斑
いつも元気なおてんば姫。やる時はやります!



オオタニハヤテ
セン馬・7歳・芦毛
白い馬体に注目! 昨年・昨年と3着でしたが、今年こそは!



サクラダンディー
セン馬・14歳・栗白斑
出走ポニーの中では最年長。でも最後まで元気に走ります!

※9月26日現在の情報で、馬の体調等により変更する場合があります。

注目の決勝レースは、いよいよ10月12日(日)、東京競馬場で行われます。お楽しみに!!

※天候その他の理由により、イベントを中止または変更する場合がございます。予めご了承ください。

JRA 東京競馬場
東京都府中市吉町 1-1

【交通】
京王線・府中競馬正門前駅から徒歩2分
京王線・東府中駅から徒歩10分
JR府中本町駅から徒歩5分
西武多摩川線・是政駅から徒歩10分

【入場料】200円

第2回 ジョッキーベイビーズ (平成22年11月7日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	③	渡邊亮介くん	関東
	2	④	川島はるかさん	関東
	3	①	福久紗蘭さん	北海道

第4回 ジョッキーベイビーズ (平成24年11月4日)	着順	馬番	騎手名	代表地区
	1	⑥	小林勝太くん	長野
	2	④	青木一馬くん	関東
	3	②	大池澤奈さん	北海道

スタートの方法 (カウントダウン方式)



- ★10秒前からカウントダウンを行います。
- ★フライングしたままゴールすると失格になります。
- ★口取り(引き手)はJRA職員が行います。
- ★危険防止のためムチは持てません。

※ポニーはゲートの練習をしていません。制止させずに引き手を放すやり方では、馬がよれる可能性が高まり危険なため、上記スタート方法を採用しています。

★ジョッキーベイビーズ公式ホームページ

ジョッキーベイビーズ